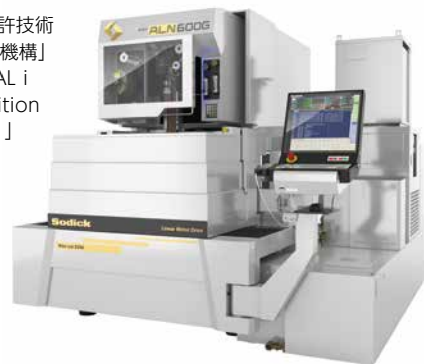


世界初のワイヤ回転機構を搭載したワイヤ放電加工機 ALシリーズの新製品「AL i Groove Edition」シリーズ

▶ 新たな特許技術「ワイヤ回転機構」を搭載したAL i Groove Edition「ALN600G」



「AL i Groove Edition」シリーズはワイヤを回転させることで、高精度の安定化や加工の高速化、省資源化につなげられるワイヤ放電加工機です。

ワイヤ回転機構により、加工物の上面から下面まで常に無消耗のワイヤ面で加工するため、ワイヤを傾斜させる補正が不要となるほか、ワイヤ消耗による面質悪化がなく、ワーク上面から下面まで均一で良質な加工を実現します。

また、仕上げ領域でのワイヤ消費量を削減できるほか、無消耗面での加工により除去効率が高まることで加工時間の短縮が図れます。

自動化・高生産性ニーズに対応した 超高速細穴放電加工機「K4HL」

「K4HL」は異なる穴径の長時間連続加工に対応する細穴放電加工機です。

リニアモータをはじめとする独自の放電制御技術により、ドリルでは困難な細くて深い穴を高精度に高速加工でき、様々な材質で高品位加工を実現します。また、業界初の自動電極供給装置により、自動運転や無人加工、高速・高効率加工を可能にします。

航空宇宙・エネルギー産業、自動車産業、医療機器、電機・電子産業の様々な分野で、

加工ニーズの難易度が高まり、コロナ禍の影響を受け自動化ニーズが加速しています。「K4HL」は、これらにお応えできるハイスペックかつ汎用性に優れた新製品です。

「K4HL」は日刊工業新聞社主催の「2020年（第63回）十大新製品賞本賞」を受賞しました。昨年の「AG200L」、一昨年の「AP30L」に引き続き3年連続の受賞となります。

今回の受賞を励みに、今後もよりよい製品の開発に邁進してまいります。



▼ 高速・高精度な穴加工を“全自動”で実現する「K4HL」



生分解性プラスチックに対応した 射出成形システム「INFILT-V」

生分解性プラスチックとは

「INFILT-V」は生分解性プラスチックの成形加工に対応する不活性ガス溶解射出成形システムです。

生分解性プラスチックは、廃プラスチック有効利用率の低さや海洋プラスチック等による環境汚染といった世界的課題を解決する材料として期待されていますが、溶解したときの粘度が高く成形加工が困難であることが課題でした。

そこで、精密成形品の安定性に優位な

V-LINE®*にさらなる生産性向上を開発コンセプトとした、当社独自の不活性ガス溶解射出成形システム「INFILT-V」を開発し、成形が困難であった生分解性プラスチックでも薄肉で深物の成形加工を容易に実現することが可能となりました。

今後も、持続可能な社会の構築のため、積極的に地球環境にやさしい成形加工技術の開発を推し進めてまいります。

*V-LINE® (V-ライン®)は株式会社ソディックの登録商標です。

生分解性プラスチックは、自然界に存在する微生物の働きで、最終的に水と二酸化炭素に分解され自然界へと循環するプラスチックです。政府が推進するプラスチック資源循環戦略において、再生材の一つとして利用促進が求められています。



高品質な即席麺やチルド麺などのミキシングに適した 大型2軸ミキサ「TM-350W」

「TM-350W」は高品質即席麺やチルド麺などの混練性を高めた大型2軸ミキサです。

近年、即席麺市場は、特にアジアにおける消費量が増加しており、国内においては、自然災害時の備蓄用や昨今の外出自粛に伴う巣ごもり需要により関心が高まっています。

即席麺は生麺と比べて生産量が多いため、製麺設備が大型化する一方、麺質は生麺ほど高くはありませんでしたが、麺質に

こだわった商品ニーズも高まっています。当社では、即席麺の各メーカーの生産体制強化の動きを見据え、大型化による生産性のほか、衛生性と耐久性が向上し、高品質な即席麺やチルド麺などのミキシングに適した「TM-350W」を開発しました。

社会構造や生活様式の変化により、今後も市場の拡大が予想される即席麺市場に向けて、食品機械事業を積極的に展開していきます。



▲ 防錆と色彩を兼ね備えた黒色酸化被膜を施したステンレスを採用、衛生的かつ重厚感のあるデザイン